

読者の声

一筆啓上

何時もスポーツ新聞を買つ店で「労務者渡世」の発売が書いた紙片を見つけてとても嬉しく、早速に購入しておさぼるように読んだ。

何時も乍ら切味の良いたる太即さんの作品がすばらしい迫力でぐんぐんと私を押こまくる。

鶴見橋商店街の〇〇。竟識が判然とする。仲間の新聞も

随分と自分にアラスしてくれた。

「一通の速達から」に胸を痛めて思わず合掌しました。どれもこれもすばらしい投々の篇にもなるもの許りです。その上で教えて一言いわせて載きたいと思ひます。

「大正の或る飯場」七頁とか八頁の。と云う手配師とか、その個有名詞のインシヤルだけが出ているけれども、何とかはつきりと書けんものだろうか。投書であつて不明のものも有るでしようが読者の我

々が悪い手配師、飯場、旅館、食堂等々を知り、当然驚き合ひ又ボイコットしてこの釜ヶ崎を少しでも住み良い所としたい。より良い仕事先を選びたいと思う。

労務者の中には板のせの姿として年をとつたり、病氣になつたら、家郷に帰る人も居る事でしょうが、何処にも行けず、一生をこの地を噴蕈の地と定めて、釜ヶ崎で暮して釜ヶ崎で死んでゆく人の如何につらい事か。そう思うと一膳のめし屋、一宿のドヤで

も大切な事になるのです。以前に私は労務者渡世に「運命共同体」と題して釜ヶ崎の店と労務者の記事を寄稿したりしました。是非御願ひしたいと思ひます。以前は随分と寄稿したりしましたが、最近は何年とって筆が精になつたのか、カナクギ流を恥じたのか余りどうした事もなくなりました。淋しいと思ひます。ゴツと以前に私のドヤにトラさんが訪ねられ、編集会議の様な機会に同席させて戴きました。何十冊かの本

を寄贈させて戴き皆さんに読んで貰つたりしましたが「労務者渡世」がだんだんと遅れて淋しい思ひをしております。

トラさんがどうして編集委員会から脱したのかその辺のいきさは知りませんけれども、彼の人が一生涯懸命にこの我々の唯一の機関紙をひたすらに血と汗をそそぎ込んだ事實は消えません。又その頃が最盛期でした。「労務者渡世」の内容としましては今のものも随分と立派で実のしつかりとしたもので感心してい

ますが、発行部数の少ないのはどうした訳でしょう。一時はあちこちの飯場の食堂などで読みさの労務者渡世を見かけたものです。

編集委員の方々はこの労務者渡世が皆んなの血となり肉となりして意氣を高めているか御存知でしょうか。「深く静かに……」と言う事が如何にすばらしい事か。どうぞどうぞ御願ひします。私の少ない荷物に初号からの三十三冊目が挨拶で光り輝いています。有難う御座いました。

乱筆御免なさい。

Ｆ・Ｓこと 鈴木 芳一

一言もありません。確かに最盛期をすぎた感のする渡世ですが、読者の死まで続けたと思います。(ヤ)

喘息と薬石

わたし喘息を引きづって十二年、だんだんに治りにくく、これを止めるのに近頃は泣かされる塩梅で、五十五年の九、十月は喘息が取れず、わたしも「これまでか」と思っていました。行きつけの医

院えせっせと通院してやっと十一月に入って止まったのでホッとしました。しかし大変瘦せ細り疲れが残りました。

こんな折りに、書店に「奇跡の薬石」と題する本を見つけた(中山道治著)。この本の中に「スター・ストーン(星の石)」という薬石を選び、名古屋は中村区の則武町へ買いに出かけ、一kg一万円で、これを二kg買って帰り、水の中へ右の石を入れて水を沸騰させた後、この湯を飲むと共に煮焚き物全てに使っていました。

す。調子はとてもよくて副作用なしで安心、病状に石の効力がかうまくマッチしたようです。

持病を背負う仲間もいるでしょう。健康を本心で願う人に一光となれば幸いです。

山王町・

★ ★ ★

労務者渡世編集委員の皆さま、ま、この度は思いもかけず第三十三号をお送り下さいまして本当にありがとうございます。ありがとうございました。

人と人との出会い、ふれあい、真実の声を探しています。が、なにせ中味の無い私、軽い身体も(体重ではありません)宙に浮かせ、遠まわっています。

そんな私に何かが響いてくる。裸の音が聞こえてくる。労働者渡世、本当にありがとうございます。二さいいます。

今、札幌は白い季節、いい町になっています。時間がないうという理由にもならない。いわけの中、少々甘えた、自覚を忘れた生活をしています。もうそろそろ正月気分もなく

し本気にならなければと思っています。

又、次号もぜひお送り下さい。お待ちしております。

まことに勝手なお願いでございますが、労働者渡世各地にいる私の友にもぜひ知らせたい。出来たらあと三部ほどお願いいたします。お送りいただきましたら幸いです。へいつの号でも結構です。いつかゆっくり自己紹介でもと思っております。今、現在は何も書けません。御免なさい。

大阪は何年も住みました。

今年も一月七日、大阪に帰りました。名古屋、大阪、東京、札幌、流れています。

労働者渡世誌代千円同封させていただきます。そして、菓子、札幌銘菓です。(今私がアルバイトしている店の菓子です)お仲間でおしあがって下さい。

では、今年も労働者渡世誌多く出ますよう、編集の皆さまに。

村好子

渡世にハガキを